

ALL for ONE

Corporate Communication Magazine

Vol.12

Leadership



NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 社長室より

当初よりお伝えしていますが、会社に対して3回以上質問・意見・提案したこと、評価に対して知らされていない、3ヶ月以上返答がない、または納得が出来ていない、現場で抱えている問題…等々、誹謗中傷以外、あなたの発言を尊重して守り、個の利益・利害を阻害することなく、全て受け付けます。

ALL for ONEの精神にのっとり、問題・課題の解決に向けて取り組むことこそが事業にとって、あなたにとっての利益となると考えます。

現場にこそ答えがある。

ご連絡お待ちしております。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 社長室 担当:北山
Fax: 086-231-4783 Mail: info@kabaya-ohayo.jp

ONE for ALL

当事者意識を以って、個々の人生設計を中・長期経営計画に映し出し、自らの豊かさと事業の成長・発展を一致させ実行し、達成する。

ALL for ONE

現状から目を背けず、現実を直視し、真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする。トップからのメッセージを直接伝えと同時に、それぞれの取り組みにフォーカスし、全社一丸となってその一人を支えていく。

Editor's Note

5月。薫風になびく新緑の葉音が心地いい季節。スポーツ、バイク好きの私にとって1年で一番好きな時期です。そして、1番思い入れのある季節でもあります。

ALL for ONEは、昨年5月に発刊し、ちょうど1年が経ちました。基弘社長に、従来の社内報とは全く違うものを作ろうと言われ、「だれが編集長をやるのか」と聞かれた時、「ぼくがやります」と立候補しました。それから1年間、経営陣と社員、双方向のコミュニケーション誌となるよう、常に頭をフル回転させて企画を検討し全力で取り組み、月刊誌として発行してきました。もちろん、ほかの編集メンバーの協力がなければ、できなかったことです。目まぐるしく変化する経営状況の中、毎月発行できたことに、編集に携わる責任者としての誇りとメンバーへの感謝の気持ちでいっぱいです。というより、胸をなで下ろしているというのが正直な気持ちですかね。

ただ、満足したことは一つもありません。1年を振り返ると、長とし

ての自分の未熟さを痛感させられることのほうが多くありました。名将とうたわれる野村克也氏は「組織はリーダーの力量以上に伸びない」という言葉を常に自分に言い聞かせ、己と向き合い、律し続け、どんな時も進歩し、向上しようという姿勢を周りに見せつけてきたそうです。そして、一切満足せず、どんな妥協も許さず、新しい情報や知識を吸収し続け、ありとあらゆることのバージョンアップに努めました。

私のビジネスマンとしての人生も折り返し地点を超えました。残り時間はそんなにありません。ALL for ONEを通じて、どこまで社内改革を成し遂げられるか。そのためには、グループ社員のさまざまな意見が必要です。ぜひ新たな挑戦や新しい取り組みなど、どんどん取り上げていきたいと思っています。例えば、岩山を登る時、互いに命を預けられる関係になるためには、両者がリーダーシップを取れなければなりません。わがグループも役職に関係なく、だれもがリーダーシップを取れる会社を目指したいと思います。(細川)



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
代表取締役社長 野津 基弘

リーダーシップとは

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする。世代に関係なく、仲間や部下の人生に対する愛情と覚悟を以ってそれぞれの目的・目標を共有すること。個々とチームの目的・目標を一致させ、それぞれの持ち味を生かし、チームを動かすこと。自らが好かれるようにチームを動かすのではなく、一番困難な道にチームを巻き込み、逆境を乗り越えて人財を強く高く成長させること。果たして、リーダーとは一人で良いのか？

日本人がよく間違えるリーダー像は、 人気と支持の違いを理解出来ていないことにある。

人から好かれることは必要条件ではあるが十分条件ではない。芸能人でもスポーツ選手でも、好かれるだけでは良い結果は得られない。人に嫌われたくないと遠慮していてもチームは全く動かない。また、人気を得るためリーダー自らが全てを担うことで、結果的にリーダー不在になることはよくある。

リーダーが支持され、リーダーを支持するということは、危険でリスクの高い仕事にも、そのリーダーに、自身と家族の人生を預け、共に目的・目標実現のために結果を出すまでやり抜く力を発揮させられるかどうか。それがリーダーの十分条件である。

全力でそのチームと個人両方の目的・目標を達成させる言動と実行力を発揮し、その結果に対して、よりチームの信を一心に集められる。

※推薦図書

「マキアヴェリ 新訳 君主論」池田 廉(翻訳)

リーダーシップとは、パートナーシップ

社員それぞれがリーダーシップ・当事者意識を持つこと。それぞれがVisionを共有し、目指す目的・目標に対して現実を直視し、現状を打破する必要性を理解した上で、共に行動するという明確な意思を持つことで信頼関係が成り立つ。例えば、リーダーが道を反らし、礼儀と道理を外した場合、道を正すこと。個々の素晴らしい当事者意識がリーダーを求めるからこそ、素晴らしいリーダーが生まれ、リーダーシップのあるチームとなる。

※推薦図書

「ルフィと白ひげ 信頼される人の条件」安田 雪(著)

リーダーに求められる条件として、帝王学は必須

リーダーになる人だけが学ぶモノでは無い。吉田松陰は、漁師、下級武士、農民、上級武士、町民に関わらず、自分が国のトップになったつもりで、現状分析し、どういう国にしたいか、そのためにはどうすべきかの政策や戦略を立て、議論し、各々の至誠を求めた。その町民や下級武士が明治維新を成し遂げ、西欧列強国に負けない国家経営を成し遂げ、下級足軽たちが、立場や役職、位に関わらず、その成果に基づいて、元勳として歴史に名を残した。現代でも英国のオックスフォード、ケンブリッジ大学では、学生たちが世界に君臨し支配することを前提とした帝王学や国に尽くす学問を学んでいる。現在の日本では、帝王学がないため、出された問題を答えることが学問となっていると言っても過言ではない。つまり、答えのある問題を答えさせられ続けているのだ。社会的意義のある仮説を立て、自ら問題を抽出し、解決するために取り組んでいくことが本来の学問である。

リーダーシップが求められる仕事とは？

Businessも全く同じである。世の中の仕組みや流れの中での仕事とは、他者（社）が生んだ価値の仕事でしかなく、その結果、利益は薄く、低くならざるを得ない。リーダーシップのある仕事とは、自らが社会的意義のある仮説を立て、問題を抽出し解決するための仕組みや流れをつくる側になるということです。我々経営陣だけがリーダーになるのではなく、事業会社自体がその業界内のリーダーになることが中・長期経営計画に記されています。新しい仕組みや流れ、価値を創造するリーダーになるための知見と教養を広め実践する。そして、社会、国の発展に寄与する企業グループとなるよう日々精進してほしい。リーダーシップの素養とは、多様性のある各個人の卓越性の卓越が発揮されること。あらゆる場面でリーダーが入れ替わるパートナーシップ（チームワーク）によって、あらゆる困難に自らの意思を以って立ち向かっていく強く^{しな}やかな企業体質を目指してください。これこそが重要な必要・十分条件だと確信している。

行動規範について

質問者：島田公平さん カバヤ食品 マーケティング業務戦略室・販売推進課

得意先にALL for ONE vol.9を見せた時、グループ行動規範が電通の「鬼の十則」に似ていると指摘されました。「変な方向に向かってない？大丈夫？」と言われましたが、自分の中に答えがなく、何と返せば良いか困りました。

野津基弘社長から「就業時間8時間、自己成長24時間」

鬼十則は仕事に取り組む心構えについて指し示している訓示のようなものであり、個人的にはとても大切にすべき十則であると考えます。

世の為、人の為に尽くし、真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにするため、「誠実によく働く社風・社内文化」を大切にしようとするに臆病になる必要はないと考えます。

仕事は、時間を掛ければ良いとは限りません。もし時間を掛けて仕事が終わらないのであれば、それは仕事の流れと仕事の仕方を改善すべきです。我々は最小限の労力で最大限の効果を出す。作業を減らして最大限の結果を出すべき仕事の仕方をすべきだと考えます。

売上高100億の企業の社長にも1兆円の売り上げを出す企業の社長にも同じく24時間しかありません。どんなに従業員が多くても、社長は一人です。どう考えますか？

心配している方には、その方に仕事に対する規範とはどうあるべきですかと、聞いてみるのも良いでしょう。行動規範に関わらず、印象だけで判断する人が極めて多い。社員の皆さんもそうですが、よく読んで理解を深め自らの現場に生かしてください。

電通鬼十則が取り沙汰されている最中に、この行動規範を発表した我々の企業姿勢について考えるのは良いことだと思います。



当事者意識を持ち、 現場とつながった商品開発を目指そう！

オハヨー乳業 執行役員

久山 忠彦氏

今の開発部は現場に出向いていない。自らの意思で現場に出向き、五感で認識し、自分の中に現場感を持ち、ホンモノを創り上げる。その気概が感じられない。最近、そんな指摘を多く受ける。

現場といえば、すぐに工場を考えるだろうが、開発することに必要な現場感、現場力は違うところにある。かつてのオハヨー乳業の開発部では、「三現主義」を大切にしてきた。実際に現場に出て、現物（人・物事）をしっかりと理解し、現実を認識した上で課題を解決してきた。

今はどうか。情報が手軽に入手できる現代社会において、直接現場に行かずに理解した気になっているように感

じる場面が多い。開発部門を率いる責任者として猛省しなければならない。なぜなら、自分が実務で開発していたときは、三現主義をオハヨー乳業の文化として受け継いでいたにも関わらず、今のメンバーに伝え切れていないからだ。開発メンバーの一人ひとりに、現場感と当事者意識をどうすれば植え付けられるのか。私の新入社員時代の体験談を伝えたい。

すべてを一から自分で学ぶ ヒントは必ず現場にある

私が入社したのは1986年。パソコンもインターネットもない時代。配属の日を今でも忘れられない。開発部の商談

室に、開発部長、研究室長と私。そこで言い渡されたのは「ビフィズス菌が生きた状態の飲むヨーグルトを開発してくれ」ということと、「乳酸菌の管理を体系的にまとめてほしい」というものだった。そして2冊の乳酸菌の本を渡され、「これで勉強してくれ」と言われただけだった。

ビフィズス菌は、当時その効能、効果で注目されていたが、取り扱いが難しく管理できていた企業は少なかった。まず、教えてもらったのは、乳酸菌飲料の製法。それを覚えることで、乳酸菌の扱い方、発酵乳の製法、微生物管理、飲料の生産工程などを一通り理解した。ヨーグルトを発酵させては、24時間、1時間おきに成分測定したり、乳酸菌数を検査したり、少しでも情報を入手するため、とにかく食欲に実験した。

最初の壁は、ビフィズス菌ではなくヨーグルトのにおい。当時のヨーグルトは、発酵臭が強烈で食べられなかった。試食が苦痛で会社を何度も辞めようと思ったほどだ。ビフィズス菌の前に、このにおいをなんとかしないとここで働けないと思い、乳酸菌によってにおいが変わることを調べ、ブルガリア菌への変更を検討した。当時、乳酸菌を入手するには、乳業技術協会くらいしかなく、その菌株は数種類。大学の農学部や微生物を扱っているところに直接電話し、菌株を譲ってもらえるよう交渉したが、あるところには一笑され、あるところは邪険にされ、譲ってもらえるところなど一つもなかった。そんな中、専門誌に菌株を販売しているメーカーを見つけ、数ある中からラクトバチルス アシドフィルス菌を選んだ。腸内菌種で乳の発酵力が弱いから臭くならない菌というのが理由だ。早速これを使用してプレーンヨーグルトを作ったが、当時の開発部長に「豆腐のようで、紙みたいな味。これはヨーグルトではない。まずい」と言われ、落胆した。それでも、自分でも食べられる味の薄いヨーグルトを必要としてくれる消費者が絶対いると考え、利用法を模索し続けた。

もちろん同時進行でビフィズス菌とも戦っていた。ビフィズス菌は偏性嫌気性菌で、酸素にふれるとすぐに死んでしまう。社内に専門家がない中、2冊の本を読んだ程度ではどうにも対処できなかった。そこで岡山大学農学部の研究室に懇願し、4年生の卒論を手伝うという名目でビフィズス菌について一から学んだ。発酵乳をつくる段階でビフィズス菌を添加するとヨーグルトが出来上がるころには死ん

でいるという状況が続き、あれこれ試してみたが失敗続き。そこで思いついたのが、出来上がりにビフィズス菌を添加すれば、少しは生き延びるだろうというもの。今ではセオリーであり、一般的手法だが、30年前のオハヨー乳業では画期的なものだった。

さらに、今まで使用してきたブルガリア菌よりも、ラクトバチルス アシドフィルス菌の方がビフィズス菌の生存性が高いこと。また、イチゴの「のむヨーグルト」をつくった時、ヨーグルトの味が薄いことが功を奏し、イチゴの風味が際立ったこと。この2点を上司に進言し、ビフィズス菌入り「のむヨーグルト」のプレーンとストロベリーを発売することができた。



開発部はもっと当事者意識を持って現場とつながらなければならない。そこには必ず現状を打破できるヒントがあるからだ。目標や目的を達成するために、部署間の壁などさっさと取り払い、外に出て、酪農家やフルーツの生産者、材料素材の開発者と会い、互いの欲求をぶつけ合うべきだ。強い想いを真摯に伝えれば、相手は必ずそれに応えてくれる。そうやって生み出した商品は、関わる人達の想いが必ずどこかに反映される。彼らの欲求を、我々が実現しているということでもある。

素材からすべて関わり、つくり上げた商品が店舗に並び、お客様がお金を払って買ってくれ、食べて喜んでもらえる。オハヨーの開発部は、新人からそれができる。それほど面白い仕事ができるチャンスを我々は与えられていることを肝に銘じて、取り組んでほしい。

ライフデザイン・カバヤ 走って！転んで！笑った社内運動会

共に汗流し結束強める 住宅メーカーらしい趣向も随所に





Life Design
KABAYA

ライフデザイン・カバヤは、4月9日、岡山市北区の岡山ドームで、全社員と家族ら約400人が参加して社内運動会を初開催しました。

社名変更したことを機に、社員の結束力をより強固にしようと企画。岡山支店、倉敷支店、福山支店、本社の4つに分かれ、チーム戦で得点を競いました。

定番の二人三脚やチーム対抗リレーに加え、玉入れを邪魔する選手がいる「玉入れさせない」や木材をのこぎりで切って運ぶ「大工リレー」、バトンの代わりに名刺や契約書をリレーし、最後に上司にサインをもらう「営業マンリレー」など住宅メーカーらしい趣向を凝らした競技で会場は大盛り上がり。また、宝探しなど子どもが楽しめるイベントも企画し、盛りだくさんの内容となりました。

優勝は最終競技のチーム対抗リレーで岡山支店が倉敷支店を逆転！優勝賞品を獲得しました。窪田健太郎専務は「共に汗を流すことで一体感を増すことができた。これからさらに成長していくための手段として定期的に開催したい」と話しており、次回開催にも期待が高まります。





**この企画力、展開力、運営実行力 !!
さすが一軍ならではの一体感 !**







“世界”を肌で感じる事ができた 「だから強くなれる」

信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦を連覇した
大阪学院大学ゴルフ部ヘッドコーチ

井上 尚彦氏

2017年春。グランドオープンを間近に控えたザ・ロイヤル ゴルフクラブで大阪学院大学ゴルフ部が2泊3日の強化合宿を実施しました。目的はただ一つ。世界基準のコースで技術とメンタルを磨くこと。学生たちを引率する井上尚彦ヘッドコーチはこのコースで何を思い、何を感じたのか―。その胸中に迫りました。

世界で戦うために何が足りないか それを気づかされたコース

1番ティーから意気揚々とスタートした大阪学院大学ゴルフ部の学生たち。だが、数ホールプレーすると顔色が一变する。鬼気迫る表情で8,143ヤードのコースと向き合い、戦略的なレイアウトの攻略ルートを必死に探していた。

大阪学院大学のゴルフ部は、全国でも有数の強豪。昨年の全国大会では団体戦で関西勢として実に52年ぶりとなる連覇を果たした。将来のゴルフ界を背負って立つ、言わばプロ予備軍なのである。そんな彼らを引率し、ザ・ロイヤル ゴルフクラブでの合宿を実施したのが、ヘッドコーチであり、(一社)日本高等学校ゴルフ連盟理事長を務める井上尚彦先生。今回の合宿の狙いをこう話す。

「ザ・ロイヤル ゴルフクラブの8,143ヤードは、学生たちには未体験。バーディーを取るためには、一つのミスも許されない。それどころか、ボギー、ダブルボギーになる危険もあります。日本国内のコースは、長くても6,500～7,000ヤード。ドライバーの飛距離が280ヤード前後飛ぶ選手なら、難なく攻略できます。しかし、ロイヤルは違う。コンスタントに280ヤード飛ばせたとしても、2打目も相当な距離が残るから、どうしても長いクラブを選ばなければなりません。そうなればもちろんプレッシャーもかかる。その問題をクリアするためには、ドライバーの飛距離をさらに伸ばす必要があります。今までの彼らのゴルフで通用してきたものが、ここでは全く通用しない。まさに“世界基準”を肌で感じるコースなんです。アメリカやヨーロッパ、海外で活躍するためには、スケールの大きなゴルフをしなければ通用しない。強くなるための絶対条件を知ることのできるコースです」。

クラブ、ボールの進化、さらにプレーヤーのフィジカルが進化したことで、世界ツアーでの平均飛距離も軒並み伸びている。今までのゴルフで満足していた学生たちに改めて飛距離の重要性に直面させ、このままではいけないという危機感を与えることこそが、井上先生の狙いだった。

ゴルフは紳士のスポーツ 礼儀、マナー磨いて欲しい

ゴルフは「紳士のスポーツ」と言われる。ゴルファーであれば、ただスコアが良ければいいというわけではなく、紳士たる立ち居振る舞いも身に着けなければならない。ルールブックの中でも、初めに書かれているのは、礼儀・マナーについてだ。その点でも、ザ・ロイヤル ゴルフクラブは最適な環境だと井上先生は話す。

「歴史・伝統・文化のある日本の名門コースでは、なかなかこういった合宿を行うのは難しい。ザ・ロイヤル ゴルフクラブは完成したばかりだが、厳格な規則があるコース。だからこそ、学生たちは自然と礼儀やマナーを養うことができる。その点でも最適な環境であると思います。完成したクラブハウスを見させてもらいましたが、通常のゴルフ場とは違う空気が漂っていました。学生たちにとっては自



然と背筋が伸びたでしょう。しかも、メンバーになれる方は、ある種、社会で成功された方だと思います。そんな方たちと接し、しっかりと立ち居振る舞わないといけないという環境があるからこそ、『ただゴルフ上手いだけではダメなんだ』と学生たち自身が気付けると思うのです」。

世界的に有名な名門コースでは、やってはいけないことがあるからこそ、秩序が守られ、メンバー同士の信頼感が生まれる。ゴルファーが互いを思いやる礼儀やマナーが根幹にあるから、クラブライフがより充実したものとなるのだ。技術だけでなく、心も磨くこと。その点でも、ザ・ロイヤル ゴルフクラブは「世界基準」だと感じた。



井上 尚彦(いのうえ なおひこ) 氏
大阪学院大学ゴルフ部ヘッドコーチ。大阪学院大学高校体育教諭で、同校ゴルフ部ヘッドコーチも兼任。(一社)日本高等学校ゴルフ連盟の理事長も務める。同校ゴルフ部では2008年関西高等学校対抗戦優勝、10年全国大会団体戦で優勝などの実績を挙げ、同大学ゴルフ部では信夫杯争奪日本大学対抗戦で連覇を果たすなど手腕を発揮。16年には文部科学大臣優秀教員表彰を受賞。

NEW FAMILY

新しい仲間たち



みなみ けいいちろう

大学卒業後、約15年事業会社（日系・外資系）の情報システム部門で社内システムの企画・開発・運用のマネジメントを経験後、新規事業の立ち上げを行う。その後約10年間、食品流通・不動産賃貸業の経営企画部で企業経営に従事。2017年4月入社。広島県出身。

南 敬一郎

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社 経営企画室

日系・外資系とさまざまな企業で、システム開発から新事業の立ち上げ、経営企画に携わり、それぞれのステージにおける企業の状態を体験し、あるべき姿の構築に取り組んできました。今後は経験を活かし、ホールディングスおよびグループ各社の変革のステージに応じた企業運営のサポートができればと考えております。

ホールディングスの経営企画室では、グループ全体の長期的なビジョンに向けて、経営のかじ取りのサポート並びに、企業力の底上げに微力ながら尽くしていきたいと考えています。皆さんの10年ビジョンを必ず実現するため、グループ一丸となって一緒に進めていきましょう。

趣味は水泳。小学生の時から約40年欠かさず泳いでいます。今も週4回、2kmほど泳ぐことで、リフレッシュしています。



やまだ まさこ

大学卒業後、Apple Japanに入社。マーケティング戦略立案・実施に従事。その後、ソフトバンクグループで新規事業立ち上げ、マーケティングを担当。教育・ふるさと納税・公営競技を通して地方財政を支え社長賞を受賞。直近ではリクルートでゼクシィのアプリ開発、広告を担当し、2016年に功労賞を受賞。保育士資格保有。2017年4月入社。大分県出身。

山田 聖子

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
オハヨーバイオテクノロジーズ準備室

「日本の女性を支える仕事がしたい」。大学時代に保育士資格を取得後、富裕層や女性ターゲットの marketer をしてきました。その中で、母親という存在が日本を元気にする原動力になっていると実感し、一人でも多くのママを支え、日本の発展に貢献したいと強く思うようになりました。

当グループは、裏づけを持ったホンモノを世の中に出していこうとする志が強く、経営陣は社員の話にしっかりと耳を傾けてくださいます。このような素晴らしい環境で、自身が魅力を感じているL.ロイテリ菌を日本の皆様に提供できるというスタートラインに一緒に立つことができたことを、女性 marketer として大変嬉しく、楽しみで仕方ありません。今後、食だけに留まらないサービスとブランドを展開することで日本に貢献しつつ、自身も仕事とプライベートを両立する marketer としてより一層成長し、活躍できるフィールドを広げていこうと思います。



おおさわ はなよ

ミツバチの行動とその生産物の研究で農学研究科修士課程を修了。システム会社でSEを経て結婚。米国コーネル大学昆虫学にインターン生で留学。出産後は、子供英語教材の出版社に勤務。直近ではNHKスポーツ事業部でデータ放送、webサイトの運営に携わる。2017年4月入社。神奈川県出身。

大澤 華代

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社 秘書室

私には15歳の娘がいます。2001年のNY同時多発テロの時、激震のニューヨークでお腹にいた娘です。その日から私の人生観は変わりました。毎日を一生懸命生きる。そして子育てにおいて「世界で通用する Global Standardな15歳にすること」という目標を掲げました。その目標は達成し、娘はこの夏から米国に留学します。

カバヤ・オハヨーグループには、私が今まで掲げてきた目標と同じ「世界基準」というコンセプトがあります。仕事も子育てと同じです。次世代につながる新事業をきちんとカタチにするため、全力を尽くします。入社して毎日、存在目的と経営方針を唱和し、声に出しながら「今日の欲求をホンモノにしよう」と思っています。

幼少期からバイオリンを習っていたのでクラシック音楽鑑賞が大好きです。また娘が高校からゴルフ部に入ったので、一緒に練習しています。今の目標は、ザ・ロイヤル ゴルフクラブでラウンドすることです。



とよだ さおり

リクルートライフスタイルで「HotPepperBeauty」の営業、編集を担当。誌面企画やリアルイベントによる会員数増加施策に取り組む。その後、電通グループでダイレクトマーケティングのコンサルとして、メディアとCRMプランニング、広告企画に従事。大手メーカーの通販事業部立ち上げも経験。2017年3月入社。兵庫県出身。

豊田 沙織

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

社長室 グループ広報担当

これまで、さまざまな企業をクライアントに、コミュニケーション戦略で事業拡大のお手伝いをしてきました。メディアが発達し、細分化した市場の上に高度な情報化が進む現代社会では、「企業の軸」を伝えることが最も求められていると考えています。その観点でも、グループ各社が共通するビジョンを持って事業に取り組んでいることは、非常に誇れることです。我々の意思を社会に提示することで、経営の原動力となるように尽力したいと思います。とはいえ、まだまだ経験は浅いです。とにかく人に会うこと、感度を上げることに重きを置き、会社とともに成長したいと考えています。

写真や美術品を見ることが好きで、休日は美術館や展覧会に出掛けることが多いです。大学時代は写真研究会に所属しており、写真を撮っては暗室にこもる日々でした。最近では、デザインの奥深さに興味があり、六本木の「21_21 DESIGN SIGHT」に毎月通っています。

さくらまつり開催で表彰



カバヤ食品は、4月12日、(公財)日本さくらの会が主催する「第52回さくら祭り中央大会」でさくら功労者として表彰されました。

毎年4月に岡山本社の中庭で開催している「さくらまつり」が10年以上続いていることが桜を通じた地域貢献活動であることとして評価されました。

さくら振興議員連盟の逢澤一郎会長は「日本人の優しさ、親切な心、おもてなしの心は、美しい桜によって育まれた心ではないでしょうか。これからもさくら功労者の皆さんと共に桜を護り、桜を育てていきたい」と祝辞を述べられました。

昨年からグループ企業を挙げてのイベントとなった「さくらまつり」。「さくら功労者」の名にふさわしいイベントとなるよう、これからも努力していく考えです。

アンテナショップでイベント開催



カバヤ食品、オハヨー乳業、ライフデザイン・カバヤの共同コミュニティサイト「Caramel milk house」主催の交流イベント「春のイチオシ新商品試食会」を4月20日、東京都にあるアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で開きました。

サイトの認知向上と新規会員獲得、既存会員との交流を目的に企画。オハヨー乳業の新商品や焼プリンの試食、カバヤ食品のお菓子バイキングやチョコファウンテン、イチオシ商品の紹介、工場見学映像の視聴会などを実施しました。271人が来場し、中にはその場で会員になった人もおり、終始にぎやかなイベントとなりました。

「Caramel milk house」では、これからもグループ会社と消費者との交流の場を増やし、各種イベントやアンケート、掲示板を通じてお客様との交流を続けていきます。

フットサル大会 115人が参加し大盛況



オハヨー乳業は、4月15日、岡山市の灘崎町総合公園フットサルコートで、毎年恒例の労使共催部署別フットサル大会を開催しました。

今回は、新入社員の研修期間中ということもあり、新入社員チームが4チーム編成されました。また、カバヤ食品からも精鋭メンバーが参加し、総勢115人のスポーツ大会となり、大いに盛り上がりました。

試合は開始早々から白熱した展開となり、日ごろの運動不足を感じさせない動きを見せていました。途中、雷警報により避難を余儀なくされ、中断したまま大会は閉幕しましたが、部署を越えてコミュニケーションを図ることができました。多くの社員の家族も応援に駆けつけ、楽しいひとときとなりました。

順位

- 1位 営業支店連合チーム
- 2位 新入社員No. 2チーム
- 3位 長船工場第一工場連合チーム

ゴルフショーにブース出展



東京レジャー開発は3月24～26日、パシフィコ横浜で開催されたアジア最大級のゴルフショー「ジャパンゴルフフェア2017」に初出展しました。

今年で51回目の開催となるイベントで、約170のゴルフ関連企業・団体が出展。グッズやウェア、シミュレーターなどの練習関連機器の展示販売のほか、試打ブースが設けられるなど、多くのゴルフファンが集まり、会場全体が熱気に包まれました。

東京レジャー開発は3月25日にランドオープンした「ザ・ロイヤル ゴルフクラブ」をPR。鮮やかなグリーンの大型パネルが会場で目を引き、多くの人々が足を止めていました。8143ヤードという国内最長のコースとこだわりの詰まったクラブハウスに来場者は魅了され、「ぜひラウンドしてみたい」との声が多く寄せられました。

ザ・ロイヤル ゴルフクラブでは、6月にチャレンジーナメントを開催予定。それ以降も世界基準のコースとしてトーナメント開催の誘致を進めるなど、日本のゴルフを世界基準にするべく、活動の幅を広げていく考えです。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス推薦図書感想文



読んだ推薦図書

「思考は現実化する」
ナポレオン・ヒル

ライフデザイン・カバヤ

新地 妙子さん

あらすじとしてはナポレオン・ヒル博士の成功体験が書かれており、「考える脳力」と「富を得たいという願望」を持つ人を成功へ導く哲学が紹介されています。その中で私が印象に残った言葉は、「いつ、いかなるときも報酬以上のことをせよ！行動計画を立て、積極的に行動し、報酬以上のことをする習慣を身につければ、あなたはどこの誰よりもその利益とモチベーションを得ることができる」でした。報酬以上のことをする習慣を身につけることは一足飛びにはできそうにないと感じましたが、まずはそういう意識を持って仕事に取り組むことが大事だと思っています。

この本を読んで、常に考えることや願望を持つことがいかに大切なことかを知ることができました。また、自分の生活や行動を考え直すきっかけになりました。



読んだ推薦図書

「ニコマコス倫理学」
アリストテレス

日本カバヤ・オハヨーホールディングス

天野 勲さん

幸福を存在目的とするグループの一員として、この本は外せない一冊だと思い、読みました。分かりにくさを感じる人も多いと思いますが、まずは読み切ってみることをお勧めします。「幸福とは最善の徳に基づく生活であり、徳とは『超過』と『不足』の中間性である」とアリストテレスは説いています。両方を理解しない限り、中間を見つけることはできません。私たちはつい一つの考え方や方向で物事を判断してしまいがちですが、常に思考を双方向に張り巡らせて考えることが大切だと思いました。

複数ある主題の中で、「愛(友愛)」について最も多くのページが割かれています。愛とは何か、自分にとって友とはどんな存在なのか、アリストテレスと一緒に考えてみてはいかがでしょうか。



読んだ推薦図書

「人を動かす」
Dカーネギー

イケダベットファーム 池袋店

寺師 徳彦さん

人を動かすということは、その人の心を動かすということ。カーネギー氏は特に難しいことと要求していませんでした。特に印象に残った言葉は、「人を非難することに何の価値も認めない。誉めて人を動かすこと」でした。では、誉めるだけで良いのかというとそう単純ではなく、「脳力」を使う必要があり、また、相手が間違った時に、その誤りや欠点をその人自身に気付かせなければならないということでした。その人が反抗するのではなく、協力したいと思わせることが大切だと説いています。

実践編では、自分が扱ってもらいたいように、人を扱うこと。その人の過ちを正す時は、その人の感情を傷つけないよう思いやりをもって行い、相手の面目を保つことが大切だと書かれていました。実践できるよう心掛けたいと思います。



読んだ推薦図書

「稲盛和夫の実学」
稲盛和夫

エクセルバック・カバヤ

大内 一雄さん

入社以来、営業部に所属し、今までは会計学を意識した事がほとんどありませんでした。会計学は経理的な問題で総務に任せれば良いと言う意識があったと思います。この本を読んで、経営と会計の密接な関係について学ぶ必要があると強く感じました。また、原理原則に従い、自らの軸を持ち、判断していくことの重要性も書かれていました。

自分の仕事と照らし合わせながら読むことができ、二部では実践の記録もありましたので非常に分かりやすくまとめられていました。これからも稲盛和夫氏の著書をいろいろ読んでみたいと思います。



ライフデザイン・カバヤ 押田 奈緒美さん

20・30・40代、それぞれの年代でやるべきこと、やって
おいた方がよいことを教えてください。



野津 基弘社長から

20代、仕事のように遊び、遊ぶように仕事する。
30代、仕事のように遊び、遊ぶように仕事する。
40代、仕事のように遊び、遊ぶように仕事する。
以上！



カバヤ食品 小田 彰彦さんなど

アンケートは無記名の方が記入しやすいのではないで
しょうか。仮名での参加で本音を語る場を記事にしては
どうでしょうか。



野津基弘社長から

仮名や無記名で送られてきた情報は、対策の打ちようが
ありません。実名で送られた意見や情報に対しては、真
摯に受け止め、対策を打ちたいと思います。



カバヤ食品 村上 史帆さん

基弘社長の時間の有効活用法を教えてください。



野津 基弘社長から

正直なところ、時間の使い方に有効活用などないと思っ
ています。それは皆さんと同じように限られた時間の中
で生きているからです。ただ違いがあるとすれば、皆さ
んが見ている時間軸とは違うところを見ているかもしれ
ませんね。目の前の仕事、目の前の判断が5年、10年、
20年間有効かどうか…です。あと、物理的な時間を超
える仕事のやり方や仕組みを考えるのが大切だと思っ
ています。コミュニケーションには、相当時間を割いていま
す。皆さんにも厚みのある仕事をするために、コミュニ
ケーションの時間を大切にしてください。それにしても
時間は足りませんね(笑)



投稿・ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞
いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想
や疑問点をアンケートに記入して送ってください。
ご意見、ご感想をお待ちしています。



ライフデザイン・カバヤ 和氣 倫弘さん

もうすぐ新社会人が入って来ますが、基弘社長の新人時
代はどんな目標があったのでしょうか。



野津 基弘社長から

最高経営決定機関を設立し、グループ全体のヒト・モノ・
カネを把握し、取るべき将来の戦略展開を決めることで
す。あと、海外戦略を立て、世界に通用する人間になる
ことですね。また、保守的な食品業界の中でもホンモノ
を提供するために、業態改善をいわず、圧倒的な利
益を出し、世の中から必要とされる企業となることです。
…結果、20年掛かったんだけどね(汗)



ライフデザイン・カバヤ 寺尾 好弘さん

子供が小さいので家族との時間を大切にしたいの です
が、社会人として成長するための休日の過ごし方を教え
てください。



野津 基弘社長から

子どもがしたいと思うことを徹底的にさせてあげるこ
と。それから必ず手作りの食事を食べさせてあげるこ
と。サッカーも野球も良いですが、それぞれの土地のコ
ミュニティーに根差しないと参加できないので、ゴルフ
やテニス、スキーなど世界中どこに行っても個人的に
直接影響力のある人物と一緒に楽しめるスポーツをし
ておくことは将来視野が広がると同時に、世界も広がる
と思います。それから、世界中のどこに行っても共有で
きるテーマについて議論出きるように、世界中の書籍、
音楽、映画、美術、博物館、建築など、一流のモノを体
験させ、触れさせてあげるのはどうでしょう。35歳を過
ぎてから、子どものように瑞々しい感性が解放される人
が社会人としての幅と深さが出ると思います。子どもの
ころから一流のモノに触れたことのある体験が、人生を
豊かに過ごす秘訣だと考えますが、いかがでしょうか。

*子どもの将来に対して回答したのですが、質問を読
み間違えていました。寺尾さんもお子さんと一緒に取
り組んで、瑞々しい感性を身に付けてください！

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.12

発行：2017年5月31日

制作：「ALL for ONE」編集室

〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9

(株)瀬戸内経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177

NIPPON
KABAYA OHAYO
HOLDINGS
INC.

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする

... ONE for ALL